

はじめに

ちょっと前まで、個人でも会社でも、仕事に必要なデザイン作業は専門のデザイン会社や印刷会社をお願いしていることがほとんどでした。けれども、最近では、デザインを外注ではなく社内で制作したり、個人がイベントなどの告知用に簡単なデザインを作ったりすることも多くなってきていると思います。

本書では、印刷物をデザインする上で必要なAdobeのアプリケーション、IllustratorとPhotoshopを触ったことがなく、デザインもしたことがない人でも、基本的な操作方法、レイアウトの方法が学べるように書かれています。

メインの作例制作では、Illustratorの基本操作やレイアウトのベースになる新規書類の作り方、テキストや画像のレイアウトの方法、Photoshopの基本操作や画像の補正、切り抜きの方法を学びます。

バリエーションと応用では、メインの制作物の別のレイアウトと、それを制作する上で必要な機能を参照することができます。

はじめは本書を通して読んでも、すべての機能を覚えて自由にパーツを作ったり、思った通りにレイアウトすることは難しいかもしれません。ですが、バリエーションのここはどうやって作っているんだろう？と考えたり、この機能を使ったらこんなパーツができそうだと試してみたり、このレイアウトはこっちの制作物で使ってもよさそうだな、といった思考や作業を繰り返しているうちに、アプリケーションの機能だけにとらわれない、あなた自身の発想でいろいろな要素を組み合わせることができるようになるはずです。

また、バリエーションは日常のさまざまな場所、街中の広告やポスター、駅やお店のパンフレットなどに溢れていますし、そういった商業グラフィックやデザインを専門に扱った書籍も多数あります。最近インターネットでもこういったグラフィックやデザインを見ることができるので、気に入ったものを日々集めて実際に真似してどんどん作ってみると、今度はアプリケーションの機能にフォーカスした情報や書籍がほしくなるかもしれません。

本書は初心者向けに作られているため、すべての情報を伝えることはできません。それでも、本書を手にとった方がはじめてのデザインをスタートする際の手助けに、少しでもなれば幸いです。

目次

サンプルファイルのダウンロード	2
Illustrator・Photoshop体験版のダウンロード	2
Adobe Fontsからフォントを追加する	4

Introduction ソフトの基本操作

操作画面と名称	10
アプリケーションを起動・終了する	11
パネルを操作する	12
作業画面を拡大・縮小する	13
操作を取り消す	14
ファイルを保存・別名保存する	15
Illustratorで図形を作成する	16
Illustratorで色を設定する	17
Illustratorの選択ツールで図形を変形する	18
Illustratorのダイレクト選択ツールで図形を変形する	19

Chapter 1 名刺を作ろう

STEP1 名刺のベースを作成する	24
STEP2 名刺に文字を入力する	30
STEP3 ロゴを配置する	36
名刺のバリエーション	
01 横組みレイアウトの名刺	38
02 縦組みレイアウトの名刺	39
03 色を使った名刺	40
04 図形を使った名刺	41
05 画像を使った名刺	42

Chapter 2 ポストカードを作ろう

STEP1 メインになる画像を配置する	48
STEP2 配置した画像を補正する	52
STEP3 テキストを入力する	56
STEP4 飾り用の画像を切り抜く	62
STEP5 飾り用の画像を配置する	70
STEP6 地図を作成する	76

ポストカードのバリエーション

01 影を合成したポストカード	82
02 たくさんの画像を使ったポストカード	83
03 文字を使ったシンプルなポストカード	84
04 図形を使ったポストカード	85
05 合成画像を使ったポストカード	86

Chapter 3 ポスターを作ろう

STEP1 ポスターのベースを作成する	92
STEP2 リードの文字を作成する	98
STEP3 タイトルを作成する	100
STEP4 Photoshopで画像に効果をつける	110
STEP5 Illustratorで複数の画像に同時に効果をつける	114
STEP6 ドロップシャドウ付きの文字を作成する	120
STEP7 奥行き感のある飾り文字を作成する	124
STEP8 本文と地図を配置する	130
STEP9 店舗情報を作成する	138

ポスターのバリエーション

01	グレースケール画像を使ったポスター	140
02	素材を使ったポスター	141
03	切り抜き画像を使ったポスター	142
04	画像をメインにしたポスター	143
05	グラデーションを使ったポスター	144

Chapter 4

小冊子を作ろう

STEP1	メニューのベースを作成する	150
STEP2	表紙(表1)を作成する	154
STEP3	表紙(表1)の画像を配置する	158
STEP4	表2、ページ1を作成する	166
STEP5	ページ2、3を作成する	170
STEP6	ページ4、表3を作成する	184
STEP7	裏表紙(表4)を作成する	190

小冊子のバリエーション

01	縦書きで文字中心のページ	192
02	画像と文字がたくさんあるページ	194
03	見開きで画像を大きく使ったページ	196

Chapter 5

応用編 IllustratorとPhotoshopの 便利な機能

01	グラデーションの適用	202
02	グラデーションガイドを使った編集	203
03	クリッピングマスク～Illustrator	204
04	不透明マスク	205
05	パターン	206
06	パス上文字	207
07	エリア内文字	208

08	テキストの回り込み	209
09	効果を使ったパスの変形	210
10	ブレンド	211
11	カラーガイドを使って色を適用する	212
12	全体の色をガラッと変更する	213
13	テキストのアウトライン化	214
14	欧文回転・縦中横	215
15	線幅を変える	216
16	フォントの管理	217
17	素材を使う[Adobe Stock]	218
18	描画モード	219
19	明るさ・コントラスト	220
20	カラーフィルター	221
21	彩度の調整	222
22	色相・彩度・明度の調整	223
23	トリミング・角度補正	224
24	スポット修復ブラシ	225
25	レイヤーマスクでの画像の一部を補正する	226
26	レイヤーマスクを修正する	227
27	クリッピングマスク～Photoshop	228
28	フィルターギャラリー	229
29	ぼかしギャラリー	230
30	スマートフィルター	231
31	入稿の準備～Photoshop	232
32	入稿の準備～Illustrator	233

索引	234
----	-----

STEP 2 名刺に文字を入力する

2

名刺に必要な文字を入力しましょう。
入力した文字をそれぞれ設定することで、見やすくわかりやすい名刺にしていきます。

素材ファイル：なし

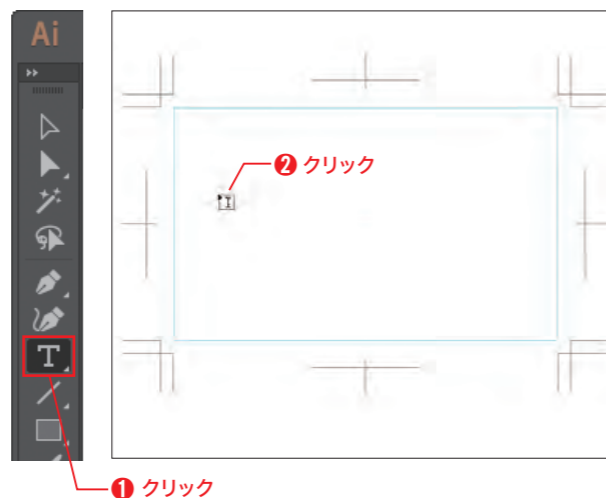
完成ファイル：0102b.ai

文字を入力するための
オブジェクトを作成する

[文字] ツール **T** を選択し ①、ドキュメント上
をクリックします ②。

MEMO

[文字] ツールでは、クリックした場所に文字が入り
ます。手順 6 で文字の位置を調節するので、クリック
する場所はおおよそでかまいません。



2

テキストオブジェクトが
作成された

クリックした箇所に、サンプルテキストが入力
されました。

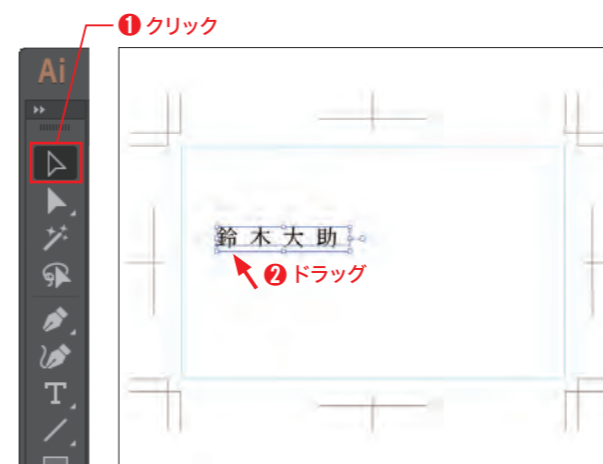


3 名前を入力する

サンプルテキストが選択されたままの状態
で、「鈴木大助」と入力します ①。

MEMO

入力する名前は、本書の通りでなくてもかまいません。



入力した文字を確定する

名前が入力できたら、[文字] ツール **T** をク
リックします ①。これで、テキストが確定しま
す。

MEMO

[文字] ツールをクリックすることで、入力した文字を
確定することができます。文字の確定には他にもいく
つかの方法がありますが、本書では [文字] ツールをク
リックする方法で統一しています。他の方法で文字を
確定した場合は、手順が若干変わる可能性があります。

名前を設定する 5

[プロパティ] タブをクリックし ①、[文字] の項
目を以下のように設定します ②。

フォントファミリー: 小塚明朝 Pro
フォントスタイル: R
フォントサイズ: 14pt
トラッキング: 600

MEMO

文字が左の画面のようにならない場合は、[文字] パネ
ルの上記以外の設定が変わっている可能性があります。
新規ドキュメントを作成し直すか、[文字] パネル
は、[ウィンドウ] メニュー → [書式] → [文字] の順にク
リックして表示します。

6 名前の位置を調整する

[選択] ツール **黒矢印** を選択し ①、入力した名前を
ドラッグして左の画面のように移動します ②。
位置の微調整には、キーボードの矢印キーを使
用します。

MEMO

文字を移動する際は、仕上がりサイズから3mm以上離
すようにしましょう。仕上がりサイズについて、詳しく
はP.29を参照してください。

7

会社名と肩書きを入力する

[文字] ツール **T** を選択し①、ドキュメント上をクリックします②。サンプルテキストが表示されたら「坊ノ内養蜂園 社長」と入力します③。入力できたらもう一度 [文字] ツール **T** をクリックして④、文字を確定します。

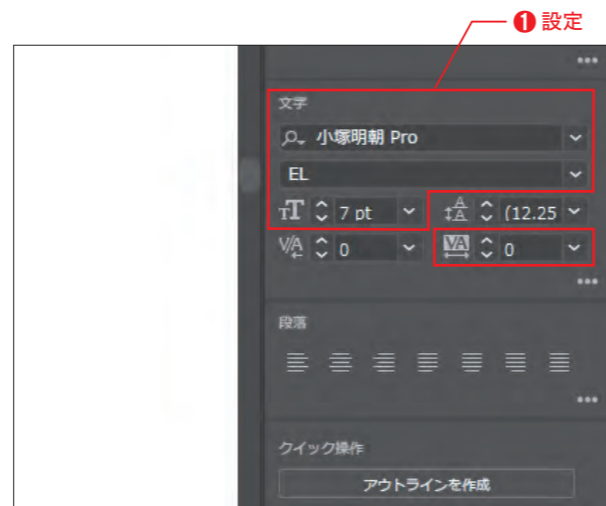


8

会社名と肩書きを設定する

[プロパティ] パネルの [文字] の項目で、会社名と肩書きを以下のように設定します①。

フォントファミリー: 小塚明朝 Pro
 フォントスタイル: EL
 フォントサイズ: 7pt
 トラッキング: 0

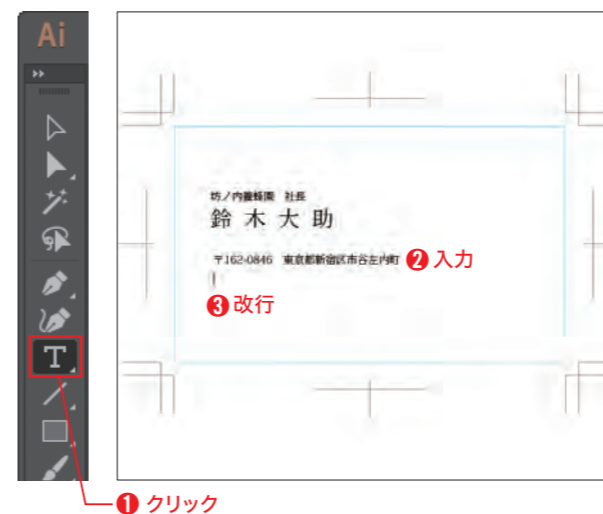


9 会社名と肩書きの位置を調整する

[選択] ツール **V** を選択し①、会社名と肩書きをドラッグして右の画面の位置に移動します②。左端が名前と揃うように、[スマートガイド] を参考にしましょう。

MEMO

文字を移動する際は、仕上がりサイズから3mm以上離すようにしましょう。仕上がりサイズについて、詳しくはP.29を参照してください。



10 住所を入力する

[文字] ツール **T** を選択し①、ドキュメント上をクリックして以下のように入力します②。入力できたら、[Enter] ((return)) キーを押して改行します③。ここでは文字の確定はせずに、次の手順へ進みましょう。

〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町

11 電話番号を入力する

続いて、以下のように入力します①。入力できたら、[Enter] ((return)) キーを押して改行します②。

tel : 03-0000-0000

MEMO

電話番号を入力する前に文字を確定してしまった場合は、[文字] ツール **T** を選択します。マウスポインターを文字の上に持っていき、**I** の形になったらクリックします。文字が再度編集可能な状態になります。

12 メールアドレスを入力する

続いて、以下のように入力します①。入力できたら [文字] ツール **T** をクリックして②、文字を確定します。

email: info@bonouchi-apiary.co.jp

Business Card Variations 03

名刺の
バリエーション | **03**

色を使った名刺



■全面に色を敷いた名刺はポップな印象を与えることができ、使用する色によって様々な印象を相手に伝えることができます。色から伝わるイメージは強いいため、使用する色はしっかりと選ぶ必要があります。背景に色を設定するには、内トンボの交点に合わせて長方形を作成して塗りを設定します。文字の上に長方形がある場合は、レイヤーパネルで重なり順を変更します。

[塗り]参照ページ →	Introduction	Illustrator で色を設定する	P.017
[内トンボ]参照ページ →	Chapter 1	トリムマーク・ガイドについて	P.029
[レイヤーの重なり順]参照ページ →	Chapter 3	STEP 8-20	P.136

Business Card Variations 04

名刺の
バリエーション | **04**

図形を使った名刺



■図形を使用することで、情報を区切って整理する、伝えたい印象に合わせて図形を変更するといったことができます。主張しすぎない帯状の図形で、部署や個人ごとにカラーを変更してわかりやすくすることもできます。直角や円形以外の図形を作成したい場合は、ツールパネルの[多角形]ツール、[スター]ツールを使用することで様々な図形を作成することができます。

[多角形]参照ページ →	Chapter 3	STEP 3-10	P.103
--------------	-----------	-----------	-------

この章のポイント 2

この章では、カフェをイメージした告知用のポストカードを作成します。写真を中心に、見出しを目立たせることで、パッと見て何の告知なのか分かるようにします。

POSTCARD



STEP 1 メインになる画像を配置する



STEP 2 配置した画像を補正する



STEP 3 テキストを入力する



STEP 4 飾り用の画像を切り抜く



STEP 5 飾り用の画像を配置する



STEP 6 地図を作成する



STEP 1 メインになる画像を配置する

ポストカードのベースを作成し、目を引くイメージとして画像を大きく配置しましょう。

素材ファイル : 0201a.psd

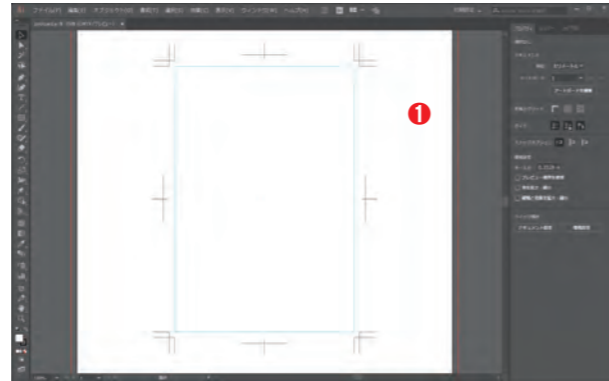
完成ファイル : 0201b.ai

1 ポストカードのベースを作成する

P.24～28の方法で[A4サイズ]の新規ドキュメントを作成し、ポストカードのベースを作成します。この時、手順8で作成する長方形のサイズは、ポストカードのサイズに合わせて以下のように設定します①。ドキュメントが作成できたら、P.15の方法でファイル名を「postcard」と入力し、「Chap02」フォルダーに保存します。

幅 : 100 mm

高さ : 148 mm

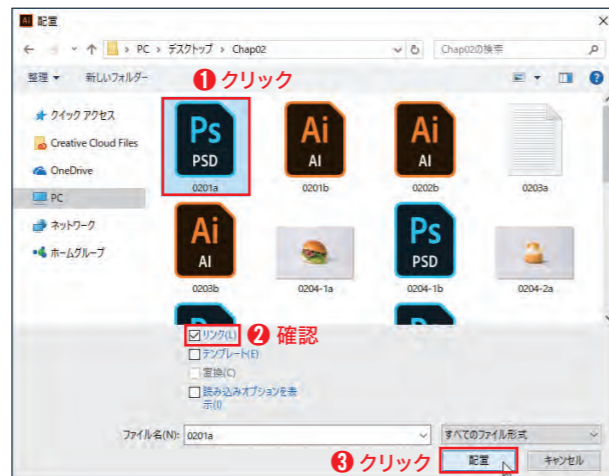


2 配置する画像を選択する

メインになる画像を配置します。[ファイル]メニュー→[配置]の順にクリックし、[配置]ダイアログボックスで「Chap02」フォルダにある「0201a.psd」ファイルを選択します①。[リンク]にチェックが入っていることを確認し②、[配置]をクリックします③。

MEMO

[リンク]にチェックが入っていなかった場合は、クリックしてチェックを入れます。

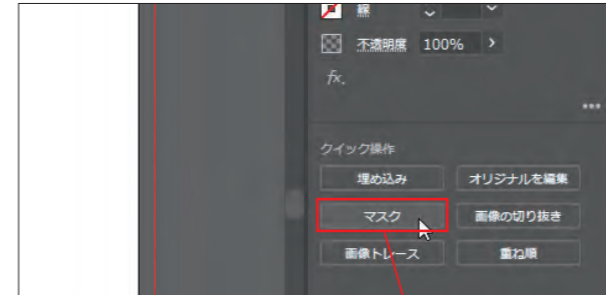
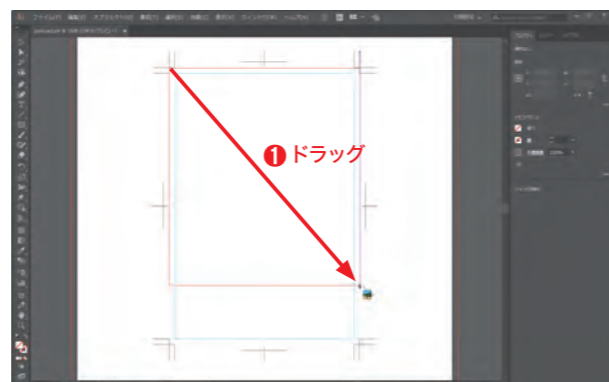


3 画像を配置する

マウスポインターが[グラフィック配置ポインター]になったら、左上のトリムマークの端辺りから、右の画面のようにドラッグします①。

MEMO

[グラフィック配置ポインター]について、詳しくはP.37のHELPを参照してください。

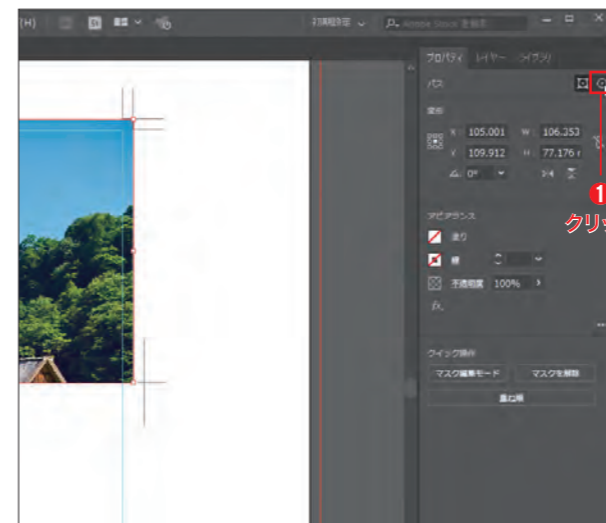


① クリック



① クリック

② ドラッグ



① クリック

4 画像にクリッピングマスクを作成する

ドラッグした範囲に、画像が配置されます。[プロパティ]パネルの[クイック操作]から、[マスク]をクリックします①。

5 クリッピングマスクを編集する

パツと見は変化がありませんが、[マスク]をクリックすると画像に[クリッピングマスク]が作成され、[クリッピングパスを編集]モードになっています。[選択]ツールを選択し①、スマートガイドを参考にしながら、パウンディングボックスの下側を中央のトリムマークの位置までドラッグします②。

MEMO

[クリッピングパスを編集]モードでは、画像に適用された[クリッピングマスク]のパスのみを編集できます。詳しくは、P.51を参照してください。

6 マスク内の画像を選択する


クリッピングパスが変更され、画像の表示範囲が変わりました。次に、マスクの位置を変えずに画像の位置を移動します。[プロパティ]パネルの[パス]から、[オブジェクトを編集]をクリックします①。

MEMO

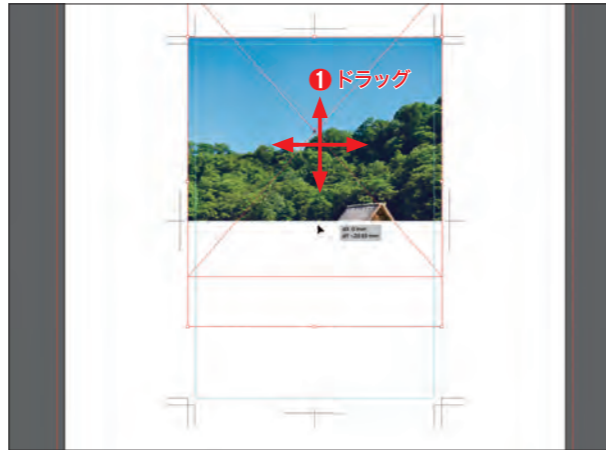
[オブジェクトを編集]機能では、マスク内のオブジェクトのみを編集することができます。

7

マスク内の画像の位置を調整する

[選択] ツール  で画像内をドラッグし①、マスク内に表示される画像の位置を調整します。


MEMO
マスク内の画像の位置は、好みに合わせて自由に変更して大丈夫です。

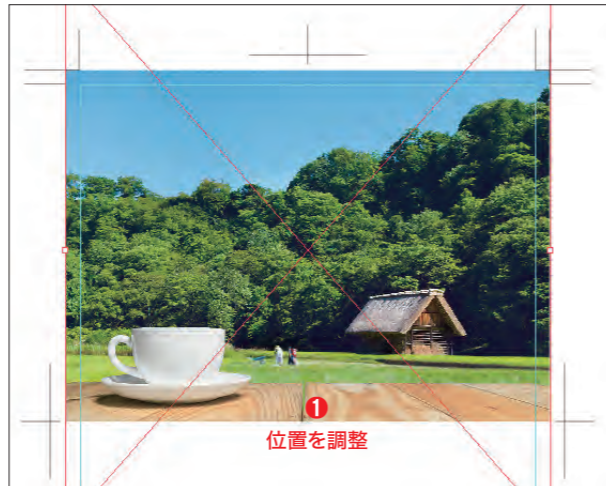


8

マスク内の画像の位置を微調整する

大まかな位置を確定できたら、[矢印] キーを押して①、マスク内に表示される画像の位置を微調整します。

MEMO
[選択] ツール  で選択したオブジェクトは、[矢印] キーを押すことで位置を細かく調整できます。[Shift] キーを押しながら [矢印] キーを押すと、通常よりも大きく移動することができます。



9

メイン画像の配置が完成した

画像の配置が完了したら、P.15の方法でファイルを上書き保存しましょう。



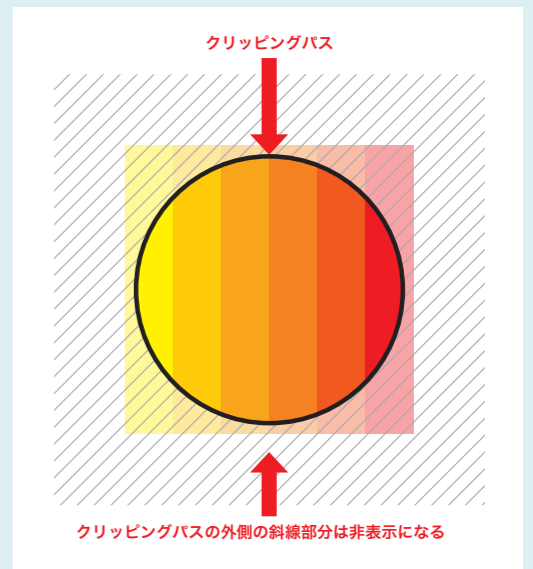
OUTLINE

Illustratorのクリッピングマスクについて

Illustratorでは、クリッピングマスクを使用することで、オブジェクトの表示範囲をパスやシェイプを使って指定(マスク)することができます。クリッピングマスクが適用されたオブジェクトは、最前面にあるパスやシェイプの内側にあるオブジェクトのみが表示され、外側は非表示になります。

クリッピングマスクが適用されたオブジェクトは、「クリップグループ」と呼ばれるグループレイヤーになります。グループの一番上にあるレイヤーがマスクになっているクリッピングパス(最前面にあったパス、シェイプ)と呼ばれるレイヤーで、その下にあるのがマスクされているオブジェクトです。

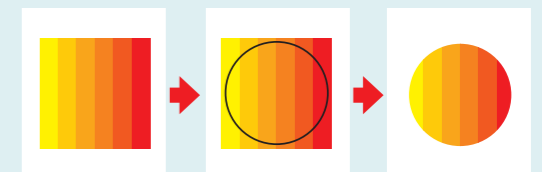
クリッピングパスに指定されたレイヤーは、線や塗りといった属性情報が破棄されます。破棄された後に属性を設定することもできますが、印刷時に不具合が出る可能性が高いため、クリッピングパスと同様の位置に同じサイズのパス、シェイプを作成してそちらに設定するようにしましょう。



クリッピングマスクが適用されたオブジェクトの表示範囲



・クリッピングマスクの作成

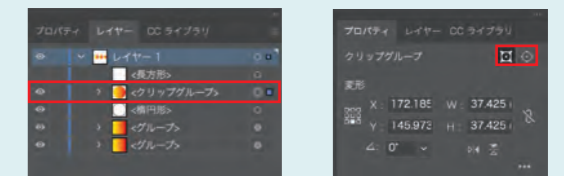
クリッピングマスクを作成するには、マスクしたいオブジェクトの前面に、マスクしたい形状のパスかシェイプを重ねます。マスクしたいオブジェクトと重ねたパス、シェイプを同時に選択した状態で、[オブジェクト]メニュー→[クリッピングマスク]→[作成]の順にクリックします。



四角形だったオブジェクトがパスの形状にマスクされた

・クリッピングマスクの編集

クリップグループに対して変形などの操作を行うと、クリッピングパスとマスクされたオブジェクトの両方に適用されます。クリップグループ内のマスクやマスクされているレイヤーを個別に編集するには、クリップグループのレイヤーを選択した状態で、[プロパティ]パネルの[クリップグループ]にある[マスクを編集]  か、[オブジェクトを編集]  のどちらかをクリックします。



クリップグループのレイヤーを選択した状態の[プロパティ]パネル

Postcard Variations 01

ポストカードの
バリエーション **01**

影を合成したポストカード



■切り抜きで配置している椅子の画像は、Photoshopで椅子と影を別々の画像として切り抜いた後に、Illustrator上で組み合わせてレイアウトしています。影の画像のみ描画モードで合成することで、かんたんに影を背景になじませることができます。

【描画モード】参照ページ →

応用編 18 描画モード

P.219

Postcard Variations 02

ポストカードの
バリエーション **02**

たくさんの画像を使った ポストカード



■複数の画像をレイアウトする際は、明るさや色味がバラバラだと見栄えが悪くなりがちです。特に意図がない場合は、Photoshopで明るさや色味などが合うように調整することで、統一感のあるレイアウトになります。

【明るさの補正】参照ページ →

応用編 19 明るさ・コントラスト

P.220

【色味の補正】参照ページ →

応用編 20 カラーフィルター

P.221

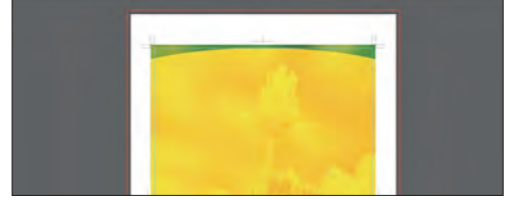


この章のポイント 3

見出しにかんたんな装飾を施したポスターを作成します。一番に知ってほしい内容を見出しにして、人目を引きやすいように装飾します。

POSTER

STEP 1 ポスターのベースを作成する



STEP 2 リードの文字を作成する



STEP 3 タイトルを作成する



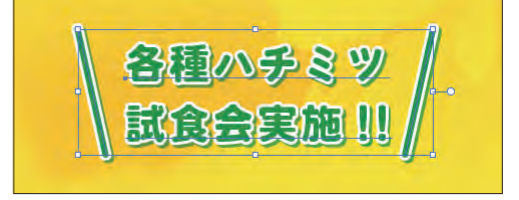
STEP 4 Photoshopで画像に効果をつける



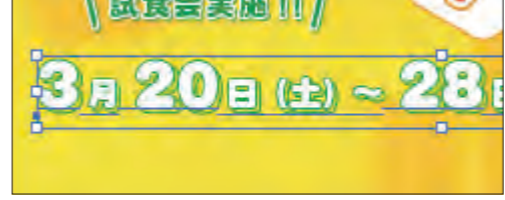
STEP 5 Illustratorで複数の画像に同時に効果をつける



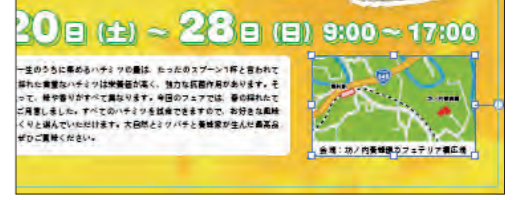
STEP 6 ドロップシャドウ付きの文字を作成する



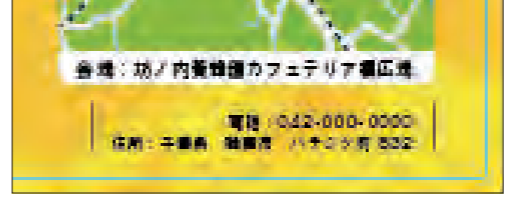
STEP 7 奥行き感のある飾り文字を作成する



STEP 8 本文と地図を配置する



STEP 9 店舗情報を作成する



STEP 1 ポスターのベースを作成する

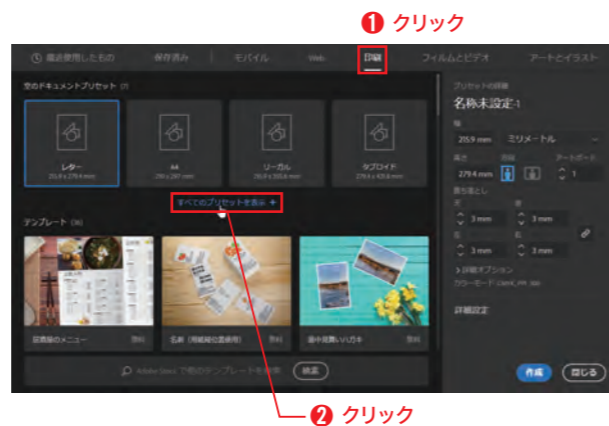
ポスターのベースを作成し、画像と図形を使った背景を作成しましょう。

素材ファイル : 0301a.psd

完成ファイル : 0301b.ai

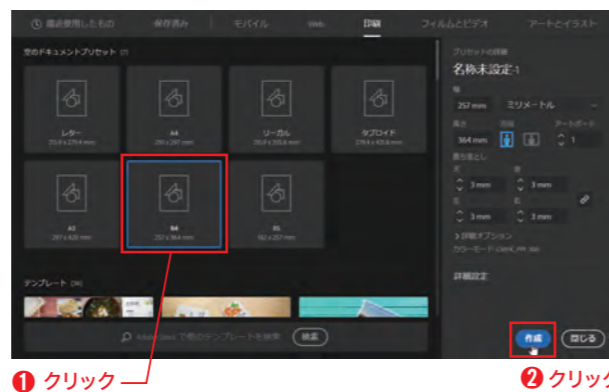
1 ドキュメントのプリセットを表示する

[ファイル]メニュー→[新規]の順にクリックして、Illustratorの[新規ドキュメント]ダイアログボックスを表示します。[印刷]の項目をクリックし①、[すべてのプリセットを表示+]をクリックします②。



2 ドキュメントプリセットを選択する

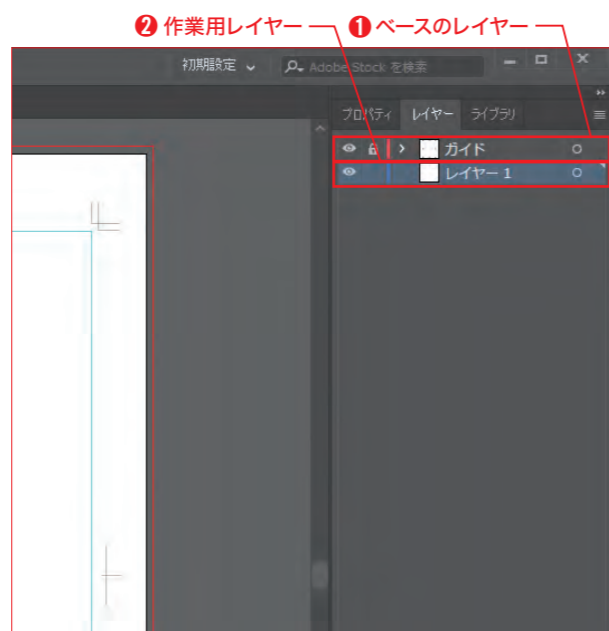
ドキュメントプリセットが表示されたら、[B4]をクリックし①、[作成]をクリックします②。



3 ポスターのベースを作成する

P.24~28の方法で、アートボード内に以下の設定で[A4]サイズのベースのレイヤー①と作業用レイヤー②を作成します。ベースのレイヤーはロックし、作業用レイヤーを選択した状態にします。

幅:210mm 高さ:297mm



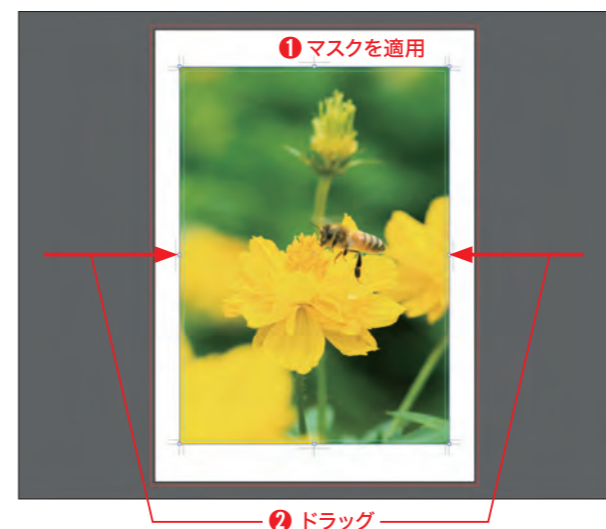
4 画像を配置する

P.48の方法で、「Chap03」フォルダー内の「0301a.psd」を配置します。この時、画像の上下がトリムマークに合うようにドラッグして配置します①。[選択]ツールを選択し②、画面のように位置を調整します③。



5 画像をマスクする

P.49の方法で画像に[マスク]を適用し①、トリムマークに合わせて左右のマスク範囲をドラッグして調節します②。



6 長方形を作成する

画像の上に、下地となる不透明の長方形を作成しましょう。[長方形]ツールを選択し①、トリムマークに合わせて画面のようにドラッグして長方形を作成します②。



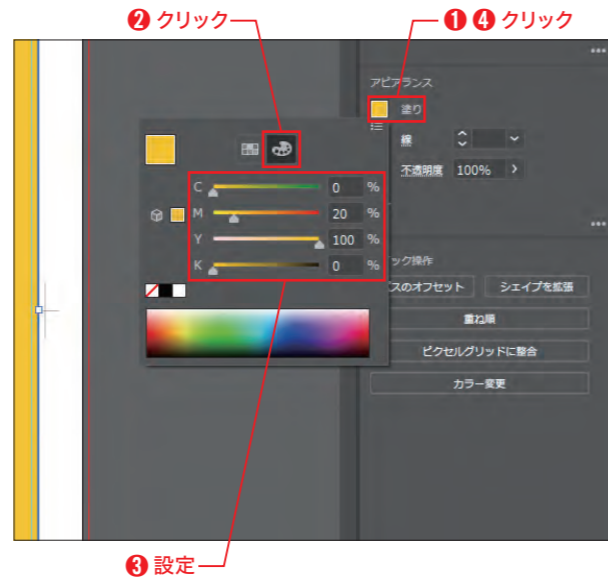
7 塗りの色を設定する

[プロパティ]パネルの[アピアランス]で、[塗り]をクリックします①。[カラーミキサー]をクリックし②、以下のように設定します③。設定できたら、[塗り]をクリックしてパネルを閉じます④。

C:0% M:20% Y:100% K:0%

MEMO

[カラーミキサー]では、CMYKのインク量を指定して様々な色に設定することができます。





② クリック

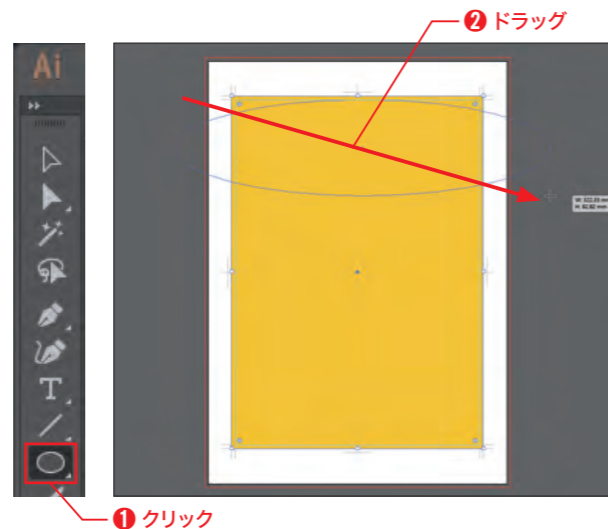
① ④ クリック

③ 設定

8

楕円形を作成する

長方形の上部を山形に変えるために、楕円形の図形を組み合わせます。[長方形]ツール  を長押しして、[楕円形]ツール  を選択します①。画面のようにドラッグして、楕円形を作成します②。




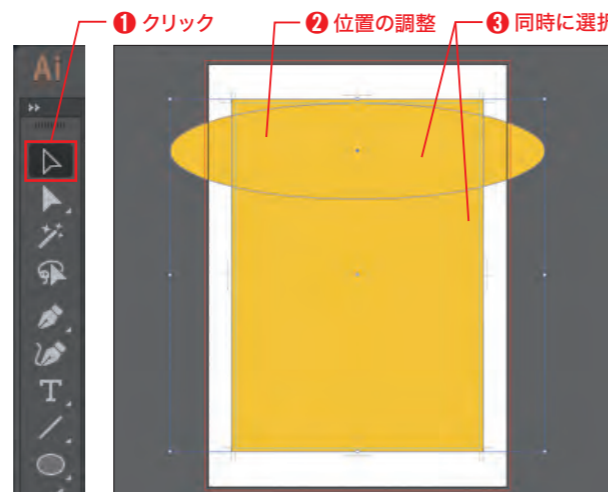
② ドラッグ

① クリック

9

楕円形的位置を調整する

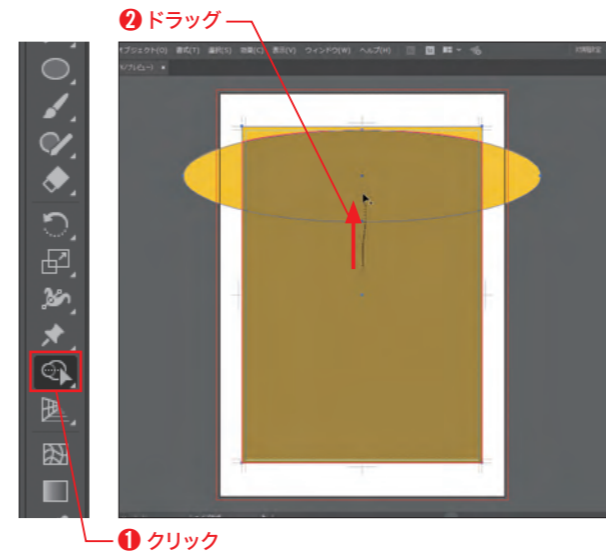
[選択]ツール  を選択します①。作成した楕円形を、画面のように水平方向がアートワークの中央に、上部がガイドに合うように位置を調整します②。[Shift]キーを押しながら長方形をクリックして、楕円形と長方形を同時に選択します③。



① クリック

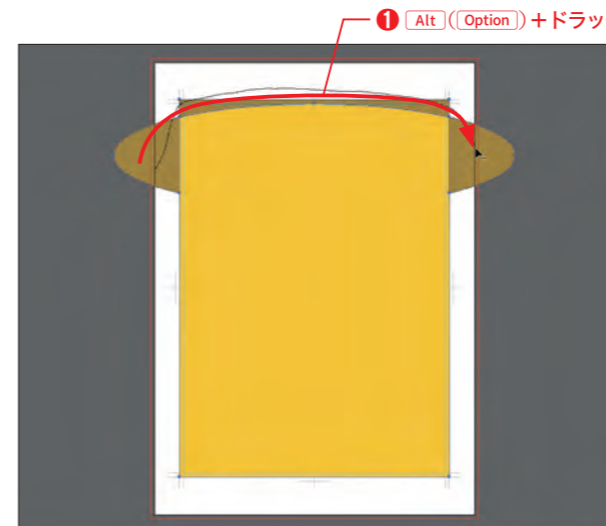
② 位置の調整

③ 同時に選択

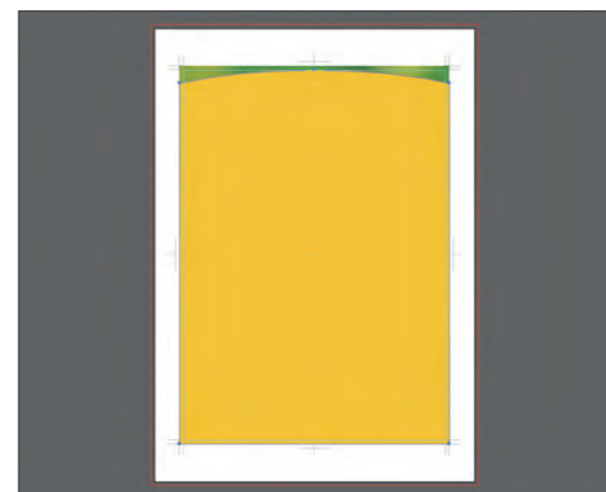


② ドラッグ

① クリック




① Alt (Option) + ドラッグ




10

図形を結合する

[シェイプ形成]ツール  を選択します①。画面のようにドラッグして②、楕円形と長方形を結合します。

11

図形の一部を削除する

[Alt] ([Option]) キーを押します。マウスポインタの形が  になったら、画面のようにドラッグし①、図形の余分な部分を削除します。

MEMO

[シェイプ形成]ツールは、[Alt] ([Option]) キーを押している間は[消去]モードになり、クリックやドラッグした領域を削除することができます。

12

長方形が山形の図形になった

長方形の上部が、山形に切り取られました。

Poster Variations 03

ポスターの
バリエーション

03

切り抜き画像を使ったポスター



■被写体や切り抜き画像の輪郭などを利用してパスを作成し、パスの上にテキストを入力する[パス上文字]ツールを使用することで、テキストをパーツとして使用したり、デザインに合わせて自由に配置することができます。

[パス上文字]参照ページ →

応用編 06 パス上文字

P.207

Poster Variations 04

ポスターの
バリエーション

04

画像をメインに使ったポスター

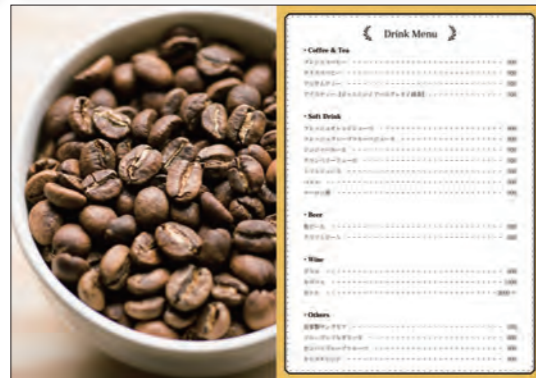


■背景レイヤーを選択し、[レイヤー]メニュー→[レイヤーを複製]をクリックして複製し、[フィルター]メニュー→[ぼかし]→[ぼかし(ガウス)]の順にクリックして輪郭がにじむくらいにぼかします。ぼかしたレイヤーの[描画モード]を[覆い焼きカラー]に設定し、[不透明度]で明るさを調整することで、光の部分がより輝いて見えるようになります。

[描画モード]参照ページ →

応用編 18 描画モード

P.219



この章のポイント 4

カフェのメニューを作成します。ぱっと見でそれとわかる表紙と内容に適したページ構成を考え、オーダーしやすい内容にします。食べたいと思わせる写真や見やすいメニュー表示にも注力します。

BOOKLET

STEP 1 メニューのベースを作る



STEP 2 表紙(表 1)を作成する



STEP 3 表紙(表 1)の画像を配置する



STEP 4 表 2、ページ 1 を作成する



STEP 5 ページ 2、3 を作成する



STEP 6 ページ 4、表 3 を作成する



STEP 7 裏表紙(表 4)を作成する



STEP 1 メニューのベースを作成する

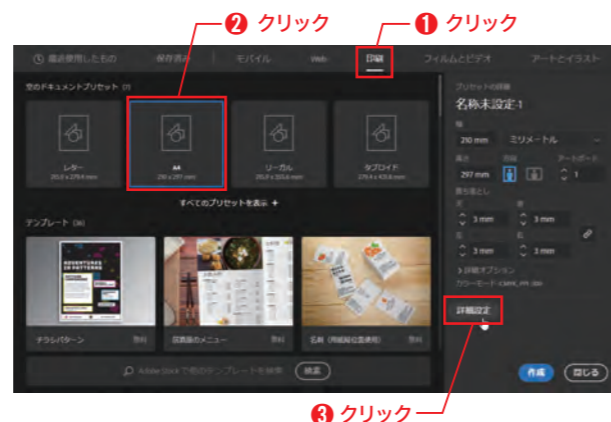
アートボードを複数作成し、1つのドキュメントでページの並びを再現します。

素材ファイル：なし

完成ファイル：0401b.ai

1 ドキュメントのプリセットを選択する

Illustratorで、[ファイル]メニュー→[新規]をクリックします。[新規ドキュメント]ダイアログボックスが表示されたら、[印刷]の項目をクリックし①、[A4]をクリックします②。[プリセットの詳細]から、[詳細設定]をクリックします③。



2 ドキュメントの設定を変更する

小冊子のページごとに、[アートボード]を作成します。[詳細設定]ダイアログボックスで以下のように設定し①、[ドキュメント作成]をクリックします②。

アートボードの数:10

横に配列: を選択

横列数:2

左からの配列: のアイコンを確認

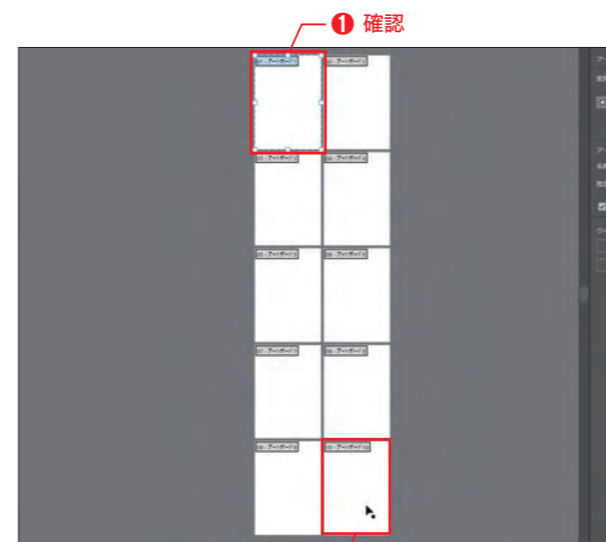
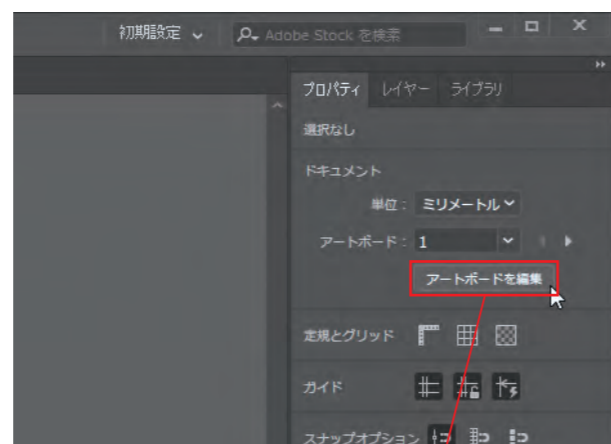
裁ち落とし:0mm

MEMO
ここでは[アートボード]が見開き単位で表示されるように、横2列で作成しています。左開き(横書き)の小冊子の場合は[左からの配列] が、右開き(縦書き)の小冊子の場合は[右からの配列] が選択されている状態にします。



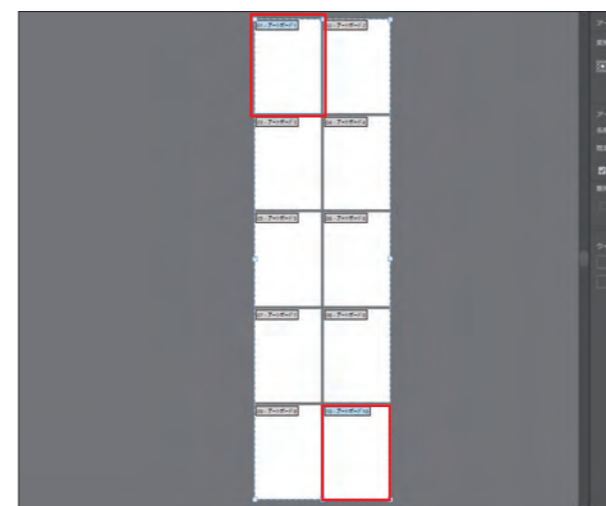
3 アートボードを編集する

新しくドキュメントが作成されます。[プロパティ]パネルの[ドキュメント]で、[アートボードを編集]をクリックします①。



4 アートボードを選択する

アートボードが、編集可能な状態になります。[アートボード1]が選択されていることを確認します①。続いて[Shift]キーを押しながら[アートボード10]をクリックします②。




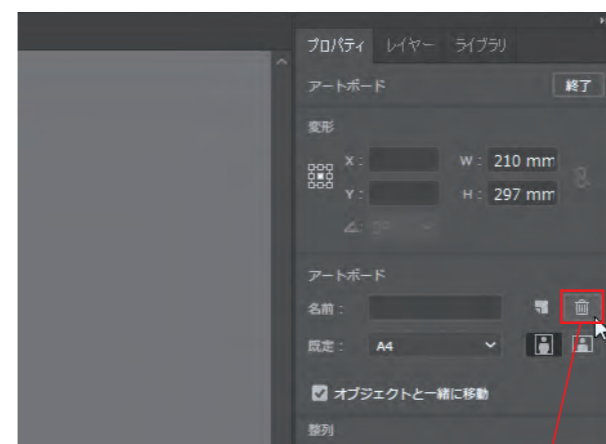
5 アートボードが選択された

'アートボード1'と'アートボード10'の2つが選択されました。この2つのアートボードは不要なので、削除します。

MEMO
選択された[アートボード]は、名前が青く表示されます。

6 アートボードを削除する

[プロパティ]パネルの[アートボード]から、[アートボードを削除]  をクリックします①。



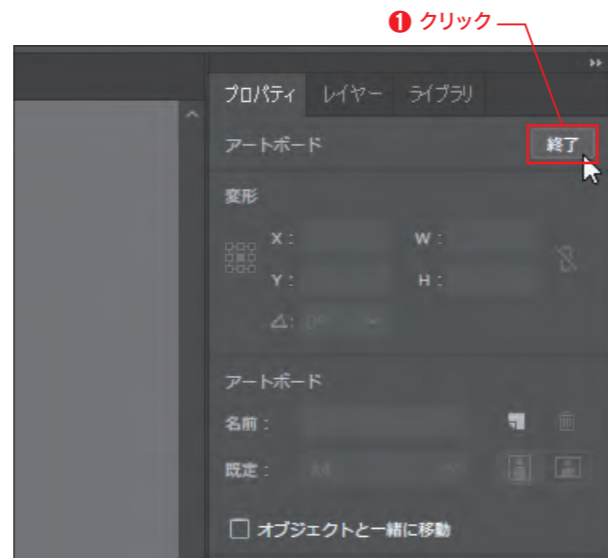
7

アートボードの編集を終了する

不要な[アートボード]が削除されます。[プロパティ]パネルの[アートボード]で、[終了]をクリックします①。

MEMO

他のツールを選択することでも、[アートボードを編集]モードを解除することができます。



8

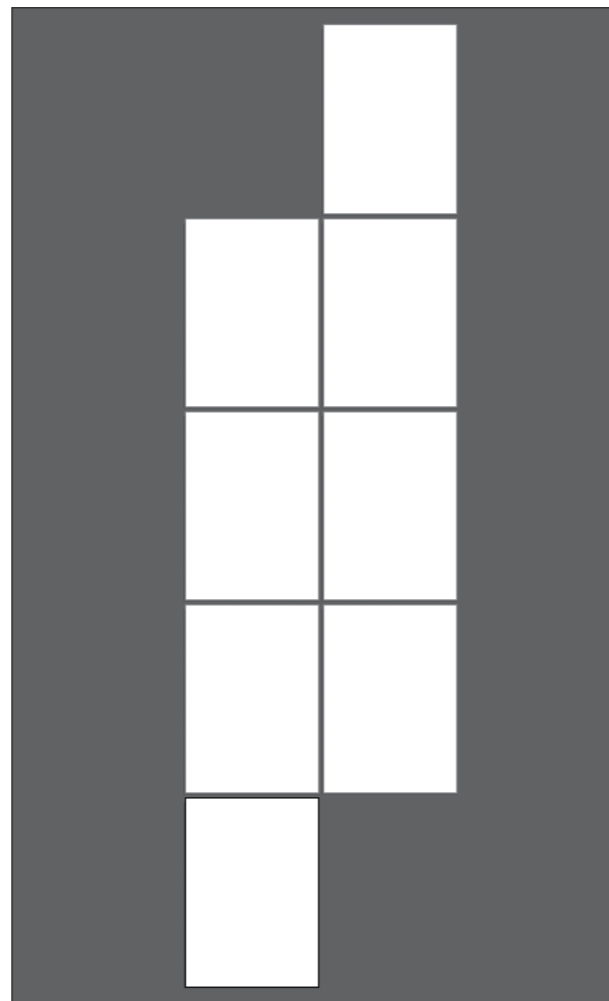
8ページ分の
アートボードが作成できました

8ページ分のアートボードが、紙面と同様のレイアウトで作成されました。P.15の方法で、以下の設定でドキュメントを保存します。

保存場所:「Chap04」フォルダー内
ファイル名:menu.ai

MEMO

上下1つずつの[アートボード]は、それぞれ表紙と裏表紙になります。表紙を別の紙で印刷する場合は、「アートボード1」を1ページ目として作業します。

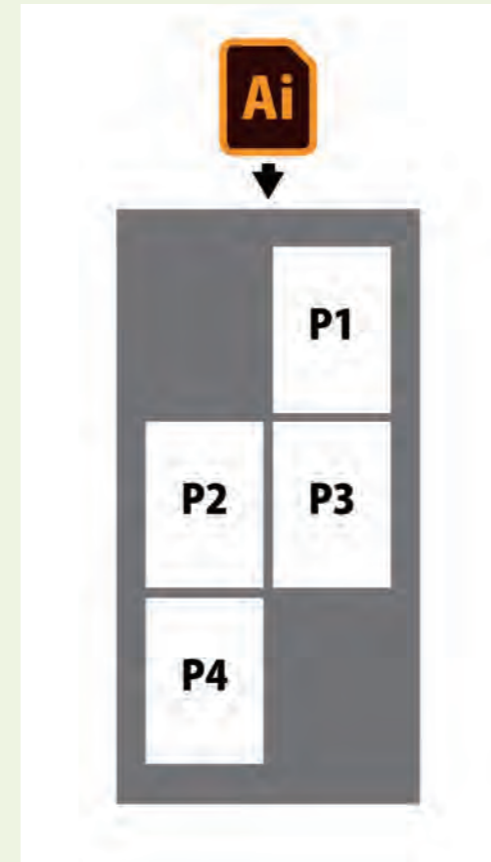


OUTLINE

小冊子を印刷所で印刷する場合の設定方法

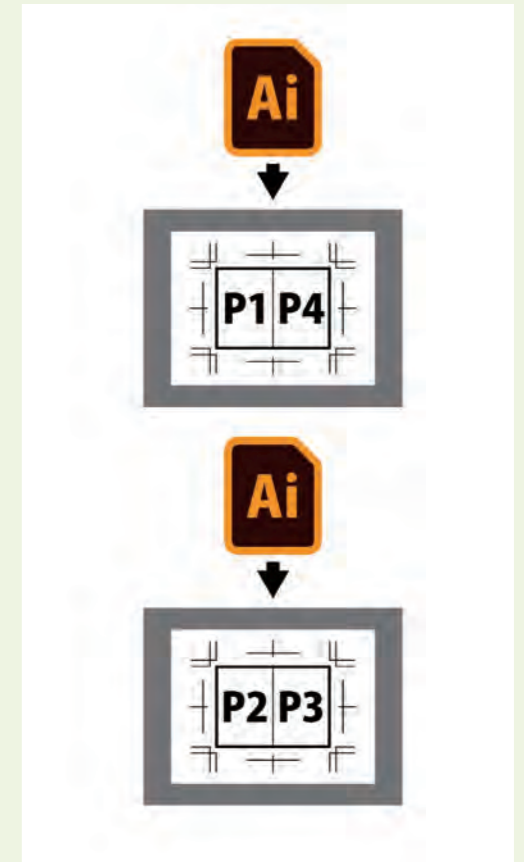
本書では、自宅や事務所、コンビニなどのプリンターを使った印刷を前提に、ドキュメントの設定を行っています。もし印刷所に発注して小冊子を作成する場合は、異なる設定が必要になります。例えば印刷所に中綴じ冊子印刷を発注する場合は、見開きごとに異なるドキュメントファイルとして作成する場合があります。印刷所ごとにルールが異なるので、はじめて使う印刷所の場合はWebサイトを確認するか、担当者に問い合わせるようにしましょう。

自宅などで印刷する場合



1つのaiファイルで複数のアートボードを作成してページにする

印刷所で印刷する場合



印刷される面に合わせて見開き単位でaiファイルを作成する

また表紙に背のある無線綴じ冊子印刷の場合、表紙と本文で紙が変わるため、必ず「表紙・裏表紙」、「表2・表3」を、本文とは別のファイルとして作成します。ページ数が多い無線綴じ冊子のデータをIllustratorで作成することはあまりありませんが、1ページ目と最終ページは見開きで作成しない場合もあるので、必ず印刷所に確認してからデータを作成するようにしましょう。